



校報

しののめ

自主開拓

【校訓】



【学校教育目標】健康で、豊かな心と知性をそなえ、すすんで自己を開発する生徒の育成

【目指す生徒の姿】

- ① 自：自分（自分たち）で考え、判断し、行動に移す生徒
- ② 主：唯一無二の主人公である生徒
- ③ 開：心を開き 仲間と協力する生徒
- ④ 拓：未来を拓こうとするたくましい生徒

R6能代市立東雲中学校 NO.10

令和6年11月26日（火）

（文責 校長 野村 誠）

～ 地域とともにある学校づくり 第2回学校運営協議会 ～

15日（金）に、今年度第2回目の東雲中エリア学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会（C.S.: コミュニティ・スクール）は、地域の声を取り入れて特色ある学校づくりをすることを目的とした制度で、向能代小学校と一体の組織として年3回会議を行っています。

当日は、総合的な学習の時間の全校発表会（向能代小6年生も参加）を開催し、委員の皆さんにはその様子も参観していただきました。その後行った会議では、校長から、今年度の学校運営の進捗状況について説明した後、委員の皆さんから、全校発表会の感想も含めたご意見をいただきましたので、一部を紹介します。

<発表会の様子について>

- ・総合学習の発表会を参観した。6年生の発表に対する中学生の反応がとても温かく、来年の入学の不安解消につながったのではないかと感じた。
- ・発表会では、学年が上がるごとに内容や発表の仕方がレベルアップしているのを見て、成長を感じた。
- ・地域に貢献したいという発表がありうれしかった。子どもたちに地域に残ってほしい。



<学校経営について>

- ・家庭学習の取組にも、主体性を大事にしているのが分かった。それができれば素晴らしい。個人差もあると思うので、一人一人の見届けもお願いしたい。
- ・仕事をするとき、課題をどう解決するか、そのアイデアを出せる力を求められる。課題解決型の学習は大切だと思う。
- ・東雲中では、先輩たちのエネルギーがすごいと感じている。先輩たちに引っ張ってもらって後輩たちが成長していると感じる。
- ・高齢者お楽しみ会（6月、湯らくの宿で）に応援団を派遣してもらった。子どもたちの顔を見て、高齢者の皆さんが喜んでいました。



冬休みまで残り1か月、3年生はいよいよ進路を決定する時期ですし、12月には生徒会長選挙が予定されており、後輩にバトンを渡す日が近づいてきます。三行の行事の一つ、「雪中綱引き・強歩大会」での生徒の成長も期待しながら、生徒たちが「なりたい自分の姿」に近づいていけるように支援していきます。